



11 USER INTERVIEW

ファミトラの活用事例

O.N 様
(受託者)

Q1:家族信託についてはどのようにしてお知りになりましたか？



日経新聞だったと思うんですけど、たまたま一面で家族信託について特集されている記事を読んだことが家族信託を知った最初のきっかけです。

その記事では、認知症などになることで銀行からお金が下ろせなくなってしまう資産凍結の問題や、もう人が住んでいない家が何十年と放置されてしまう空き家の問題など、高齢化に伴う様々な問題が特集されていました。

中でも印象的だったのは、高齢化による問題で凍結された資産が今日本全体で何百億～何千億円もあるという記述です。

正確な数字は忘れてしまったんですけど、膨大な数字で不安を覚えたのと同時に、そういった問題への新しい対策として家族信託が紹介されていて、「どんな制度なんだろう」とすごく興味を持ったことを覚えています。

任意後見制度は知っていましたが、家族信託は初めて耳にする言葉だったので気になって、そこから自分でもインターネットで検索するようになりました。

Q2:そんな中、ファミトラへご相談いただいた経緯についても伺えますか？



ファミトラさんへ相談したのはネットで見かけたからでした。

「家族信託」というワードで検索したらファミトラさんのサイトが一番出てきたので、「ちょっと問い合わせしてみよう」という気軽な気持ちで連絡したんです。

資産凍結の問題は、お友達から時々話を聞いたりすることもあり知っていました。「お金を下ろす際に、窓口で『父親が認知症なんですけど』と相談したら口座が凍結されてしまった」みたいな話で、「ああ、そんな問題があるんだな」と数年前からなんとなく気になってはいたものの、具体的にどうすればいいのかがわからないから動けないという状態でした。

また私には独り身の叔母がいるんですけど、10年くらい前に叔母の今後を考えて私を任意後見人にする形で後見制度の手続きをしたという背景もあったので、「早めに将来の対策をしておかなければいけない」という意識をずっと持っていました。

そんな状況の中で家族信託について知ったので、「もし家族信託でこの漠然とした不安を軽減できるとなったら、我が家にとってはすごく良いのかも」と感じ、ファミトラさんを見つけてすぐに相談をしたという背景です。

連絡したところ、すぐに返信をいただけて安心したのを覚えています。無料相談はオンラインが主流ということだったんですけど、私は直接お会いしてお話したかったので、オフィスまでお話を聞きに伺いました。

「こんな問題があって、不安を抱えています」と状況を伝えたと、とても親身にお話を聞いてくださいました。費用についてもお手頃な価格で驚きました。もっとお金がかかるものと思っていただけに、「これくらいの費用だったらうちの家庭でも利用できるな」と。

Q3:将来の対策を考えるうえで一番不安に感じたのはどういった部分だったのでしょうか？

一番不安を感じたのは、両親がこの先生活していくことを考えたときに必要になるであろうお金の問題です。認知症が酷くなった時は、施設への入居を検討することにもなると思うんですけど、「一体いくらかかるんだろう」という不安がすごく大きかったですね。

特に私の両親は、身体は割と丈夫だけれど判断能力に危うさがある状態なので、元気なうちから十年二十年と施設にお世話になる可能性もあって……。



そういう状況を想像した時に、口座のお金を下ろせないだけでなく、もう住まない家を売却することも人に貸すこともできないとなると、私が自分のお金から両親の介護費用に加え実家を維持するための費用なんかもやりくりしていくことになると思うんですけど、それが何年続くかもわかんない中で全部を負担していくだけの財力は私にはないので、「どうにかしなければ」と焦りを感じたんです。

できる範囲で何とかするしかないと考えてはいますが、両親の自宅も預金もあるのに、それが全然使えないという状況は残念だし悔しいなど。

それに、何も対策をしないまま両親が完全に判断能力を失ってしまうと法定後見制度を使うしかないわけですけど、そうになると、言葉が良くないかもしれませんが、その人に対する報酬もかかってくるしで……とてもじゃないけど考えられないですよ。

私自身もどんどん高齢になっていくことを踏まえて、こうした先々の不安について考えた時に、「もしものことがあった場合でも、両親のために両親の資産を自由に動かせる状態にしておきたいな」と強く思うと同時に、「家族信託ってすごく理にかなってるなあ」と感じる部分が多かったので、両親にまだ判断能力があって話をしたら納得してもらえる今のタイミングでやっておこうと決意しました。

Q4:最初に相談いただいたのは2年ほど前だと伺いましたが……

そうなんです。実は初めてファミトラさんに問い合わせをしたのは2年前でした。当時は、父の方に気になる言動がいくつか見られたので相談させていただきました。でも、その時には契約締結まで進めることはできませんでした。父が途中までは「いいね」と同意してくれて、説明も何度か一緒に聞いてくれていたんですけど、実際に手続きを進めようとした時に急に反対してしまったんです。



家族信託っていうものをなかなかうまく理解してもらえなかったようで、謄本や印鑑証明書の取得をお願いした時に、突然「家を売るのはやめてくれ」みたいな話になってしまって……。

「そうじゃなくて、何かあった時にお父さんのために管理できるようにするだけだよ」という風に説明しても、「まだ全然ボケてもいないし、しっかりしているのに失礼だ!」と急に態度を硬化させてしまいました。そんなこともあって、家族信託の利用は諦めていたような状況でした。

Q5:一度は手続きを諦めた中で、再度「やろう」と決意した背景についてお伺いできますか？

最初の相談から2年ほど経って、今度は母の方にも「あれ？この間までとちょっと様子が違う」と感じるような場面が増えたことが大きかったですね。

コロナの影響もあり、私もなかなか帰省できずにいたのですが、久しぶりに親戚で集まる機会があって帰った時、家の様子がすごく散らかっていて……。それまでは「まあなんとかなるだろう」と楽観的に考えていた部分があったんですけど、実際に変化を目の当たりにした時に「ちょっと心配だな」と焦りを覚えました。

そうやって色々なことが不自由になってきている感覚を覚えた時「やっぱりこのままぼんやりしては駄目だ」と感じると同時に、「そういえば」と、ふとファミトラさんのことを思い出したんです。そこで「前は結局何も進めることができなかったけど、もう一度やってみようかな」と思い、改めて両親に話をしてファミトラさんに相談しようと思えました。



両親は今は何とか自力で生活してはいるものの、危うい均衡を保っているような状態でしたし、二人とも同い年で90近い年齢なので同時に認知症になることも考えられますけど、そうなった場合、今後ますます露頭に迷ってしまうという思いもありましたしね……。

とはいえ2年前うまくいかなかったので、「相談しても、2年前に一度話が終わっているからもう無理だろうな」と99パーセントくらいは諦めの気持ちだったんですけど、いざLINEから問い合わせしてみたところ、その時の履歴が残っていたようですぐに返信をいただきました。

あの時の気持ちは今でもはっきりと覚えています。「LINEが繋がるかどうか危ういな」と感じながらメッセージを送ったので、「相談をお受けできますよ」と言われた時には、もう「えーっ!」とびっくりしましたし、本当に嬉しかったです!

Q6:数ある相談先の中でも、ファミトラに相談して「良かった」と感じるのほどのような部分でしょうか？

他のところには特に相談していないので比較とかはできないのですが、やっぱり費用の安さは大きかったですね。見積書いただいた時に、「ファミトラさんに支払う費用ってこれだけなの？」とすごくびっくりしたことを覚えています。

もちろん登記費用とか公証役場の費用とか、そういう実費は別途かかりますけど、それを踏まえても破格だなと……。

でも決め手はそれだけではなくて、レスポンスの早さや、担当してくださった牧本さんのお人柄なんかもファミトラさんにお願いして良かったと感じるポイントでした。



契約締結に必要な書類を集める時も、「もしこの書類がなければ、こういう方法でも対処できますよ」という風に、牧本さんが一つひとつアドバイスしてくださったお陰で迷うことなく取得できましたし、こちらがやりやすいように写真をLINEにアップロードすれば大丈夫な仕様になっていて、やり取りのしやすさみたいなのも感じましたね。

父は一見しっかりしているようで判断能力や体調面にムラがあり、「こういう状態で手続きって可能なのかな？」と不安になる場面が何度もあったんですけど、牧本さんがそういう側面を汲んで、色々な手続きを慎重に進めてくださったことも本当に心強かったです。

例えば弁護士先生との面談とかも、「その日お父様の具合が悪そうだなと思ったら、ドタキャンでも大丈夫ですよ」「本当に無理せずに、できるタイミングで先の日程でリスケしましょう」という風に仰ってくださったので、安心してながら手続きを進めることができました。

自分だけのことならまだしも弁護士など関係者を巻き込んでやっていることだったので、私としては本当はスケジュール通りやりたいなという思いはありつつ、両親の様子を踏まえると実際は難しいところもあって……。でも、牧本さんはいつもこちら側の都合を考慮し「とにかく無理をしないで、状況に応じて臨機応変に進めましょう」とおっしゃってくださり本当に助かりました。

結果スケジュール通りに進めることができたのも、牧本さんのサポートのお陰だと思っています。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

Q7:家族信託を締結し終えた今の心境についてお伺いできますか？

今はまだ締結した直後なので、「これが実現できました」みたいなことは特にはないんですけど、いざという時に自分の裁量で両親のために預金や自宅を管理することができるようになってホッとしています。

この表現が最適かはわかりませんが、“合法的に”、誰の目から見ても怪しまれることなく、自信を持って管理できるという状態は自分の気持ち的にすごく安心です。



何度か面談をして公証役場にも行って、その分の手間やお金はかかりはしましたが、公証人の前で読み合わせをして「わかりました」と自分でサインをして印鑑をするという行為が何よりの証拠だなと……。これがもし口約束であれば、今後何かあった時にトラブルが起こるかもしれないし、大変なことも含めて家族信託をやって良かったと本当に感じますね。

Q8:最後に、今同じように悩みを抱えている方に向けてメッセージをいただけますか？

いずれ介護生活が始まることになりそうですが、介護って親の体調面のことだけではなく、金銭面の問題など本当に色々な心配ごとがあると思っています。でもそんな中で今回、家族信託を利用して「お金にまつわるお悩みごとがクリアになるってすごく大きなことだな」と実感しました。家族信託は口座凍結とか家の問題とかへの対策に加えて、相続といった将来的な問題まで対策できるので、高齢化が進む今の社会の現状に合った一つの良い解決手段だと思います。

今はまだあまり馴染みのない制度で、「取り掛かるのが難しそう」という印象を抱く方も多いと思いますが、ファミトラさんのお力をお借りすることで、一つひとつ勉強しながら自分の家族のペースに合わせて手続きを進めていくことができるので、気楽に相談してみるといいと思います。

すぐに利用を検討していない人でも、「そもそも自分の家族に家族信託が合っているのか」を判断する良いきっかけになると思うので、是非ファミトラさんに問い合わせてみてほしいなと感じますね。まだ何も問題が起こっていない時に将来について考えるって面倒くさいことだとは思いますが、ちょっとでも何か気になることがあるなら、お話するだけでも安心できるんじゃないかな……。相談するのは無料ですし、強引に勧誘されるようなことも一切なかったので。

私の家族は資産家でもないのですが、最初は正直「こんな額で相談するのは恥ずかしいな」という気持ちもありましたが、「ファミトラさんならではのやり方」というものを感じましたし、牧本さん個人の素晴らしさも感じて本当に良いご縁をいただいたなと思っています。

だから今回インタビューを引き受けたんです。インタビューに掲載されたいとかでは全然なく、「これは直接感謝をお伝えできる機会だな」と思ったので自分から出演を希望しました。私自身、ファミトラさんのホームページに載っている過去に利用されたお客様の体験談を読んだことが利用の決め手になったので、今回の私のインタビューが同じように誰かの後押しになって、少しでも利用しようという方が増えたら心から嬉しいです。



O.N 様、

貴重なお話をお聞かせいただき誠にありがとうございました！